

〈広告〉

まだ誰も見たことのない世界、作りたくない？

～未踏的な地方の若手人材発掘育成事業～

LEADING EDGE 四国

クリエイター成果報告

LEADING EDGE 四国とは

愛媛を代表する企業が提示したクエストとして、四国ゆかりの満15歳～25歳未満の若者たちがアイデアやスキルを活用し、挑戦するプログラムです。

愛媛を代表する企業に自身のアイデアをぶつけて

次世代CNF電解質材料開発によるSDGs実現

小山拓斗さん×カミ商事

小山拓斗さんは愛媛大学工学部2年生です。CNF(セルロースナノファイバー)という紙由来の微細繊維を活用して「サステナブルな全固体電池」の実現に挑戦しました。本プロジェクトは、製造過程における環境適合性を追求し、製造における希少資源依存からの脱却や製造廃棄物の削減を目指すものです。プロジェクトの実現に向けて、カミ商事からCNFのサンプル提供を受け、愛媛大学の技術を活用し、電池に必要な電解質をCNFで実現させようという取り組みです。



Eco Sunshade 脱炭素に貢献しながら快適な夏を過ごす

平松夏々翔さん×四国電力グループ

平松夏々翔さんは弓削商船高等専門学校2年生です。自家発電可能な「Eco Sunshade」(エコサンシャド)の開発に取り組みました。脱炭素に貢献しながら快適な夏を過ごすために、日陰の表面に折り畳み可能なソーラーシートを取り付け、その電力で内側のファンを回転させることで涼しさを得られることが出来ます。それだけでなく、温度や湿度、紫外線の強さを小型ディスプレイに表示し、外部環境を可視化するほか、小型スピーカーを埋め込むことで音声案内を可能にしました。その他、傘の取っ手部分を3Dプリンターで自作するなど、多くの開発要素をクリアし、Eco Sunshade を完成させました。



地域に根差した災害情報伝達システムの研究

Insuiチーム×四国電力グループ


香川大学創造工学部1年生の松野京介さんがリーダーを務めるチームです。災害時効率的に避難が滞らない原因について「現在の避難情報は地域性が反映された細やかな情報提供できておらず、危険が生まれにくい」という仮説のもと、四国内の80万本の電柱を活用し、生活エリアまで範囲を細かくした情報配信ができないか検討してきました。風水害の多い四国で「誰一人災害によって命を落とす」とのない社会を作るために、リアルタイム情報を住民に届けるための「Insui」モデルの開発に今後とも挑戦していく予定です。



今治造船メタバース化計画

永易和弥さん×今治造船

永易和弥さんは愛媛大学大学院工学研究科1年生です。「今治造船メタバース化計画」は、今治造船の伝統と、今治造船の企業文化を伝えるというクエストをクリアするために企画されたプロジェクトです。プロジェクト進捗中に重大な技術的課題にぶつかり、AIチャットやアプリ開発方法の調査を何度も繰り返しましたが、ドローンや3D設計技術を活用して、最終的にメタバース空間に造船所の一部を再現し、巨大造船所シミュレーションのプラットフォームのように楽しみながら周遊できる空間を生み出すことに成功しました。



MRデバイスを活用した航行支援システム

離島人材チーム×BEMAC

弓削商船高等専門学校3年生の田原蓮一郎さんがリーダーを務めるチームです。大型船舶における航海事故を無くすことを目標に「MR(Mixed Reality)デバイス」を活用した航行支援システムプロジェクトを立ち上げました。船舶の死角となる場所にかメラを設置し、その映像をMRゴーグル上に表示することで船内いながら船外の様子を確認できるようになりました。また、船舶の位置、方向、航行情報をMRゴーグル上に表示することで、将来的には他の船舶情報まで表示することも取り組んでいく予定です。



新居浜太鼓祭りアプリ「どんどこ」

新居浜高専 袖研究室×四国電力グループ

新居浜工業高等専門学校5年生の石川翔太さんがリーダーを務めるプロジェクトです。新居浜太鼓祭りに参加する各太鼓台をシステムで繋げ、アプリ上に太鼓台の位置情報をリアルタイムで表示することで、太鼓祭りの進行状況の把握や渋滞緩和に繋げようと考えました。開発期間中は試行錯誤を繰り返して、位置情報と連携するアプリの開発に成功しました。また、自治体と連携も行うことでさらなる改善を模索しました。今後は、観光客や新居浜市民向けに役立つ情報を配信できるようにアプリの改良を進めていく計画です。



メインメンター

尾藤 正人
株式会社オープンプロジェクト執行役員 CTO・エンジェル投資家・技術顧問
未踏ジュニアPM

LEADING EDGE 四国では、四国にゆかりのある若者からのプロジェクトを公募し期間支援をしています。いつの時代も、新しい未来は若者が作ってきました。今世界でもトップの時給総額を持つIT企業も、全て20代の若者が立ち上げた企業です。四国でも未来ある若者の支援を通じて、未来の社会を作っていくことが重要だと思えます。今回大小さまざまなプロジェクトの支援をさせていただきました。失敗も成功もありましたが、それを含めて後の成長に期待しています。

【経歴】
2003年度未踏コース参加者・ウク株式会社CTO・UUUM株式会社執行役員 CTO
愛媛県出身

斉藤 隆秀
経済産業省地域未来エクスパート 合同会社アノクアンドパートナー代表社員
株式会社デジラボホールディングス代表取締役

LEADING EDGE 四国は今の課題を技術で開発するだけでなく、「やりたい未来」に必要なものを生み出すバックキャストプロジェクト。だからこそたくさん失敗もありました。失敗から立ち上がる強さを参加者全員が身に付け、強くなやクリエイターに短期間に成長してくれた。ここでの成長を今後のクリエイティブ活動にいかしていきたいと思います。2年目3年目のLEADING EDGE 四国にも関わり、四国の大きなクリエイティブコミュニティの核となっていきたいと思います。

【経歴】
2023年度「Mitohoku」PM・デロイトトーマツグループマネージャー
長野県出身

公式HPはこちら 

公式Instagramはこちら 

企画・制作 | 伊予銀行

私たちは『LEADING EDGE 四国』を応援しています！

いかに満足せず、さらに次の挑戦をめざす。

Next Is the Best

一宮グループ

今治造船

DVEP

カミ商事株式会社

四国電力

四国電力送配電

四国ガス

BEMAC

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

ヤマキ

本事業は経済産業省が所管する令和5年度 未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業費補助金「AKATSUKIプロジェクト」の交付決定を受けた株式会社 伊予銀行・国立大学法人 愛媛大学・合同会社 アノクアンドパートナーが運営しております。